

ホープ Hope

～子どもも大人も元気な学校～

令和7年2月4日(火)発行 第10号



カステラは電気を通さないと思ったけど、電気を通すことを知ってびっくりしました。



扇風機を回すためにはレモンが20万個も必要で、2千万円くらいお金がかかることを知って、家を買えるくらい！と思いました。

この一週間は今季一番の寒気が流れ込むという予報です。風雪や感染症について引き続きご注意ください。今週末には、令和7年度の新入生保護者向けの説明会が行われます。「もうそんな時期？」と思うと焦ってしまいますが、かわいい1年生を迎える喜びをまた味わうことができます。次年度は例年よりも少なめで94名(今のところ4学級編制です)の入学予定です。準備を進めていきたいと思ひます。

子どもと保護者の安心を満足へ、
満足を信頼へとつなげる指導



園児に合わせて歩いたり、ちゃんと理解してもらえるように教えたりすることが難しかったです。



まつやまっ子 Watch(ウオッチ)

○【1年生】すばらしいあいさつ

進んで、元気な声で、丁寧(相手を見て立ち止まり)に、かわいい笑顔であいさつをしています。地域や保護者の方からもお褒めの言葉をいただきます。上級生はその姿を見て、よい影響を受けています。入学から早10か月。子どもたちの成長を感じる毎日です。

○【3年生】理科実験出前授業 くだもの電池

デリバリーラボさんぴ～すが理科の実験出前授業を行いました。これは、三菱重工グループにお勤めの皆さんが「き・ず・な」活動の一環として行ってくださっているものです。講師や実験サポートとして15名ほどの皆さんが関東や関西からも集まってくださいました。「くだもの電池で電気を作れるって本当？」という学習で、理科でも電気について学習している3年生を対象とした内容でした。



果物以外にも電池の代わりになる物があるのかなあと思いました。

○【5年生】総合「幼稚園児と交流しよう」

園児(近隣の幼稚園・保育所の年長さん)との交流を通して思いやりの心や相手の立場を考えて行動しようとする態度の育成を目指します。5年生なりに小さい子の気持ちを想像しながら準備してきたつもりですが、実際にはいろいろと苦労もあったようです。元気でかわいい子どもたちばかりでした。

積極的に交流したり表現したりする意欲と態度

まつやま小 地域の応援団

◎婦人会・食生活改善推進員「ぬっぺづくり」

15名程の会員さんが諫早の郷土料理に親しむ体験活動を手伝ってくださいました。まだ家庭科を勉強していない3年生が挑戦しました。会員の皆さんが買い物、下準備、調理、片付けまで段取り良く進めてくださり、充実した時間になりました。農林水産省のホームページによると「ぬっぺ」に類する料理は日本各地に存在し、「ぬっぺい」「のっぺ」などと呼ばれているようです。どれもさといもを中心とした根菜類を小さく切って煮ることと、汁にとろみのあることが共通しています。「ぬっぺ」という呼び方は、さといもやでんぷん(片栗粉)のとろみで「ぬっとり」することからきているそうです。ごちそうさまでした。



【発行者：校長 田中 美和子】